

## 商品先物 ETF ガイド

### 壹、 先物 ETF の特性

#### 一、 定義

一般の ETF は 1 バスケットの株式に投資する方法であり、指数のパフォーマンスを追跡、再現または複製します。一方、先物 ETF は先物契約に投資する方法であり、先物指数のパフォーマンスを追跡、再現または複製します。取引方法と一般ポートフォリオは株式の ETF と同様であり、また同じように一次市場から購入申請および買戻しを行うことができます。

初期では金・原油等を追跡する国外商品先物指数の先物 ETF を先行的に発行します。以下では、商品先物 ETF と呼びます。

#### 二、 初回売買時に署名が必要なリスク予告書

専業機構投資家を含む投資家は、初めて商品先物 ETF の売買を委託する時に、リスク予告書に署名しなければ、証券業者はその委託を引き受けることができません。

#### 三、 増減幅

先物 ETF が国外の商品先物指数をトレースターゲットにし

ている場合、増減幅制限はありません。

四、 売買方法：現金により購入申請・買戻しを行います。

五、 税率

0.1%の証券取引税を除き、税を負担する必要はありません。

貳、 商品先物 ETF のメリット

一、 商品証券化 先物現物化

- ・ 商品先物 ETF の発行により商品が証券化されます。投資家は同一の証券口座で金・原油等の原料に投資することができます。別の口座を開設する必要はなく、また信用取引も可能で、大変便利です。

- ・ 投資家は台湾で市場の売買時間に集中して、国外先物指数を追跡する先物 ETF 商品を買することができます。これまで、証券市場の投資家の中には、先物の特性がよくわからないために先物市場に手を出さなかった方がいるかもしれません。先物 ETF はプロのファンド運用者が先物を操作し、投資家の興味がある原料をターゲットに追跡します。投資家は証券市場でこのような証券ツールを利用して投資を行うことができます。

二、 資産配分で有効なリスク分散

金・原油等の商品原料と、株式および債権等の主要製品は関連性が低いです。ポートフォリオの商品原料の配分を増やし、有効にリスクを分散することができ、合理的に収益をあげられます。投資家は商品先物 ETF を通して原料の分布の目的を達成することができます。

### 三、 ロールオーバー不要、保証金追徴のリスクなし

- 商品先物の投資対象は1バスケットの商品先物です。  
ポートフォリオは先物契約およびその他の現金の部分です。先物契約には一定の期日があるため、ファンド管理者は指数の規則に従ってロールオーバーを行います。投資家がロールオーバーを気にする必要はありません。
- 現在、先物 ETF 投資で購入する先物契約は、ファンド資産規模に近いです。先物保証金に前述のその他の現金を加え、100%先物契約価値の元本保証とみなすことができ、レバレッジ効果もありません。さらに、先物保証金の調整はファンド管理者が行います。投資家が保証金の追徴を心配する必要はありません。

### 参、 先物 ETF への投資に関する注意事項

#### 一、 先物ロールオーバーコストと先物・現物の価格差

先物 ETF が追跡するのは先物指数です。ファンド運用者はターゲット指数の規則に従って定期的にロールオーバーします。長短期先物の間の価格差が正（長期先物が短期先物より高い）の場合、ファンド管理者は高いもの（長期先物）を買い、安いもの（短期先物）を売ります。これは現物所有にはない先物ロールオーバー損失であり、避けることはできません。

## 二、 欧米市場への投資による時間差リスク

国内商品先物の種類は限られており、弾力性が不足しています。業者が発行する商品先物 ETF は多くが国外の商品先物指数をターゲットにしています。欧米市場の商品をターゲットに計算することにより得られる純額には、時間差によるリスクが存在します。台湾証券取引所は業者に対し、適切な関連情報を公開し、警告を表示するよう要求しています。

## 三、 商品先物の変動の激しさ

国外商品先物の多くには増減幅制限がありません。商品先物は変動が比較的激しいです。国外の商品先物指数を追跡する ETF も増減幅制限を設けていないため、投資家は相場

の変動リスクに注意する必要があります。

#### 四、 先物と現物の価格が乖離する可能性

先物 ETF が追跡するターゲットは先物指数であり、現物のパフォーマンスではありません。両者は関連性が高いですが、投資家は両者の変動に差異が発生する可能性に注意する必要があります。

ETF を取引する前には、公開説明書をよく読み、投資する商品についてよく理解してください。また、ファンド発行者のウェブサイトおよび公開データ観察所

(<http://mops.twse.com.tw/mops/web/index>) で、ETF 純額やディスカウント・プレミア価格等のデータを検索することができます。

さらに、公開データ観察所では、投資信託会社の週間資産ポートフォリオ割合や、月間保有投資資産名称ベスト 5 とその合計がファンド純資産価値に占める割合を検索することができます。最新のデータにより、投資ターゲットの合理的な価格を把握することができます。

製品の種類	商品先物 ETF	株式 ETF
投資対象	国内または海外の先物取	国内または海外の株式取引所の

	引所の原料先物	株式
追跡対象	商品先物指数	株式指数
売買時間	台湾証券取引所立会時間 (9:00~13:30)	台湾証券取引所立会時間 (9:00 ~13:30)
増減幅制限	増減幅制限なし	国内株式 ETF には 10% の増減幅制限がある。海外株式 ETF の増減幅制限は現地の売買規定による。
売買方法	証券取引口座を所有していれば、リスク予告書に署名したうえで売買を行うことができる	証券取引口座を所有していれば、売買を行うことができる
税率	1000 分の 1 の証券取引税を除き、税を負担する必要はない	1000 分の 1 の証券取引税を除き、税を負担する必要はない
売買コスト	証券取引手数料と 1000 分の 1 の証券取引税	証券取引手数料と 1000 分の 1 の証券取引税
売買方法	現金により売買	現金または現物により売買